

2017年5月29日
オーストラリア政府観光局

日本航空がメルボルンへ新規就航を発表 オーストラリア、更なる日本人渡航者増加に期待

オーストラリア政府観光局(以下「TA」、日本支局: 東京都千代田区、日本局長: 中沢祥行)は、日本航空株式会社(以下「JAL」)が本日発表した成田-メルボルン線の新規就航の発表を歓迎し、さらなる日本マーケットにおけるオーストラリアへの観光促進を図っていく方針です。

JAL は、日本人渡豪者数が近年増加している状況を受け、現在就航している成田-シドニー線に加え、今年 9 月 1 日(金)より成田とメルボルンを結ぶ新路線を開設、毎日運航することを発表しました。これにより、日本とオーストラリア間を結ぶフライトは他航空会社を含め 9 本目の直行便となり、オーストラリアへの航空座席は年間 58,000 席以上増加することになります。成田-メルボルン線は、帰国便がメルボルンを 24:05 に発ち、成田に同日朝に到着するスケジュールのため、帰国日も夜まで現地での滞在を楽しむことができ、メルボルン郊外への小旅行も十分に可能となります。



今回 JAL が就航するメルボルンは、“世界で最も住みやすい街”(英誌エコノミストの調査部門エコノミスト・インテリジェンス・ユニット;EIU 調べ)として 6 年連続で 1 位に選ばれているオーストラリアの第二の都市です。新旧の建造物と緑豊かなガーデンが調和した美しい街並みをはじめ、グルメシティとして食やワイン、カフェ文化が高く評価されているほか、全豪オープンテニスや F1 オーストラリア・グランプリなど国際的なイベントも開催されています。

今回の発表を受け、TA の本局局長ジョン・オサリバンは次のように述べています。「日本人渡豪者数は過去 3 年にわたりプラスに推移しており、2016 年にオーストラリアを訪れた数は 413,800 人(対前年比 22.7%増加)でした。JAL によるメルボルン線の新規就航の発表は大変喜ばしく、良いタイミングだと感じています。ここ数年の日本人渡豪者数の堅著な伸びは、航空会社各社による日本-オーストラリア間の直行便就航によるものが大きく、JAL の新規就航により今後の日本人渡豪者数にさらに影響を与え、日本におけるオーストラリアへの“サードウェーブ”(第三のブーム)を牽引するものと信じています。今後 TA、JAL、ビクトリア州政府観光局と共同で就航に向けた共同プロモーションを行ってまいります。」

引き続き TA では、JAL をはじめとする航空会社、旅行会社、州政府観光局をパートナーに、より多くの旅行者にオーストラリアの上質な旅を訴求する「私のイチオシ キャンペーン」のもと、食とワイン、水辺の体験など様々なプロモーションを展開してまいります。

<本リリースに関する報道関係者の問い合わせ先>
オーストラリア政府観光局 広報センター(フルハウス内) 大竹/星野/谷口
電話:03-5218-2582/FAX:03-3401-8085